

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/04/27号

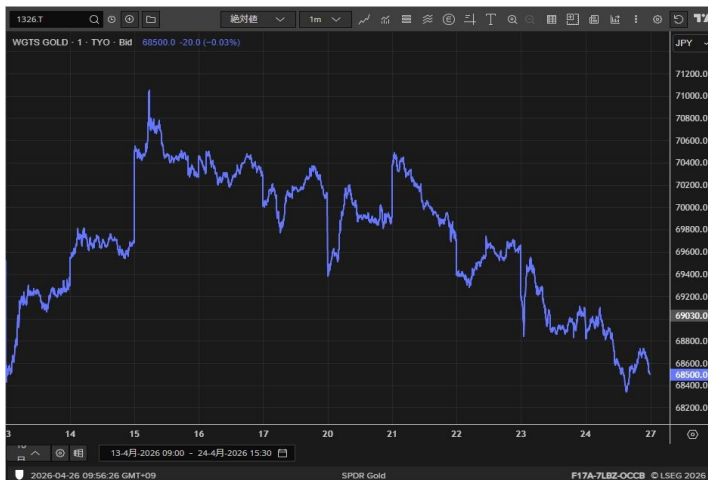
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



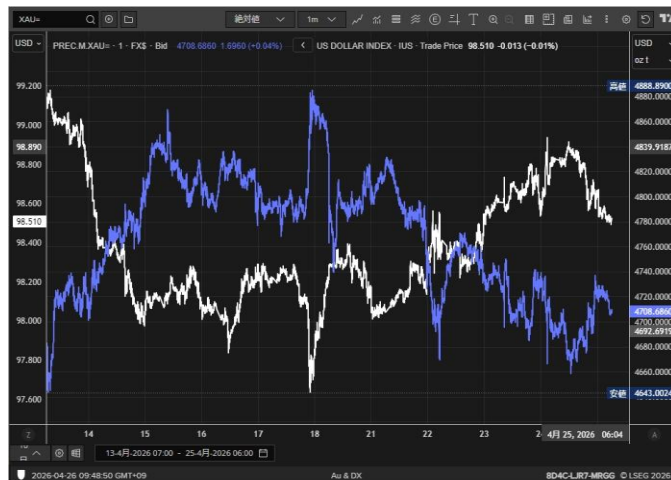
【ゴールドマーケットの現状】

停戦協議は再開の見込み遠のき原油は高止まり

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週は前々週の4800ドル中心の動きから、100ドル下げて4700ドル中心の動き。4780ドルで始まり、高値が4832.29ドル、安値が4657ドル、引け値が4708ドルとなりました。ホルムズ海峡情勢が相変わらずのデッドロック状態であり、原油はそれを嫌って上昇。ゴールドはそれに対して下落傾向となりました。年初の興奮に比べると全くもってパツとしないマーケットが続いており、正直とても退屈なマーケットだと言えるでしょう。取引レンジも年末年始からと比べると非常に狭いものとなり、取引の出来高も減少しています。多くのマーケット参加者が「様子見」を決め込んでいるようです。原油高はインフレ懸念を強くし、FRBの金利政策も年内の引き下げはほぼないという見通しとなり、それどころか将来の金利の引き上げもありうるという連想から、ゼロ金利であるゴールドの保有コストが上がるということで、買いの手も引いているのかもしれませんが。確かにゴールドETFの残高を見ると1月末の2800トンから現在は2381トンまで減少しており400トンものゴールドが売られたこととなります。1月末のゴールド最高値5600ドルから、現在は4700ドルであり、この900ドルも下げの背景にはこのETFからの資金流出もあります。しかし、2025年年初が2600ドル近辺であったことを考えると未だに歴史的な高値圏を維持しており、根本的な経済システムに対するリスクヘッジとしてのゴールドの需要は底堅いものがあると感じます。イラン情勢が長引いている間は原油は高止まりが続き、それがゴールドの上値を抑えている状況が続く可能性が高いと思います。しばらくは様子見が続きますが、下振れがあれば、たとえば4700ドル割れで4600ドルに近づく場面では買いを入れることを検討したいと思います。そうでもなければこの価格帯4700-4900ドルはやはり様子見です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

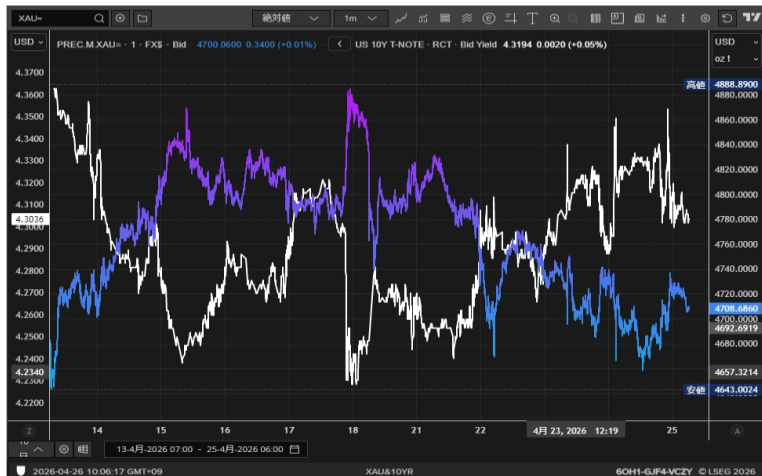
【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

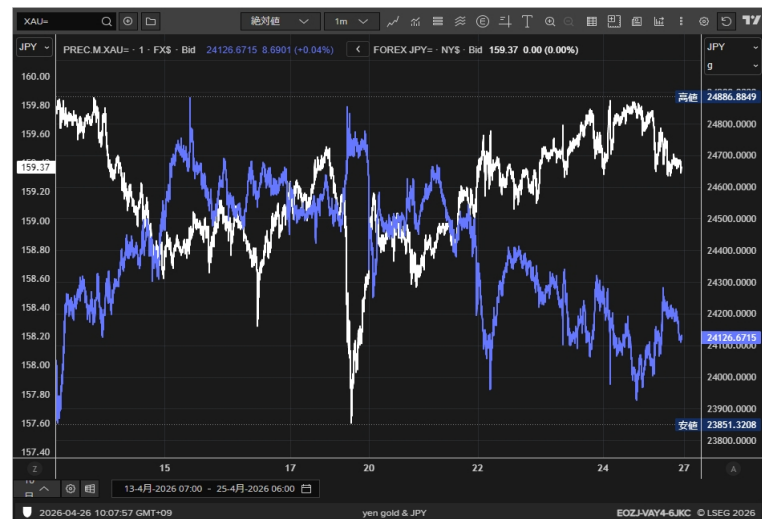
シルバーは週初の80ドル台が高値となり、ゴールドと同じく、原油の上昇が頭を抑える展開でした。イラン情勢が落ち着くまでは頭の重たい展開が続くそうです。ただゴールドとの違いがあるとすればやはり流動性が簡単に失われる需給構造にあるということです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

「プラチナの現状」

プラチナも週初の2100ドルから下げる展開となりましたが、2000ドルは超えて終わったことが救い。長期的に2000ドルを超えたレベルが継続できるかが今後を占う上でも重要かと思います。シルバーと同様に供給不足にあるということがプラチナの下値を支えるのではないのでしょうか。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで